

## 1 事業総括

入退所者数が目標の95人にはわずかに届かなかったことに加え、経営上もっとも重視される各月の月初人員が平均で68.4人（昨年71人）と定員を割り込んだ。入所申込者の対人関係上の課題の困難性、実施機関における居宅保護の推進などの背景もあり、集団生活に加え多人数部屋である当施設への入所を躊躇する事例が多々見られた。2月には全区を対象とした施設見学会を開催し、施設利用の促進を呼びかけた。

退所者の目的達成率は66.7%と昨年度（70.4%）よりやや下回ったが、入所者の多様性を考慮すれば概ね安定した実績と考えている。精神疾患や知的・発達障害を持つ方の割合が全入所者の51.6%と過半数を占め、依存症者はそのうちの60.4%（全入所者の31.2%）と高い割合を示している。精神科病院院長を嘱託医とし、また、施設利用が想定されている入院者を対象とした定期的な見学会の実施や病院スタッフ対象の見学会の実施など、医療との連携を行っている。

このような状況において、一時入所事業の有用性は高く、体験入所を経て精神科病院退院後の施設利用を検討するケースが多く、入所前の不安感の払拭など、円滑な施設移行が可能となっている。

設備管理では、指定管理元による外壁塗装・屋上防水工事が実施され、汚れの目立つ外観が改善され、施設のイメージアップにつながった。

地域との関係では、地元商店会主催の「ちびっこまつり」、近隣の淀橋市場（東京都中央卸売市場の一つ）協会主催の「淀橋市場祭り」、町会として参加する「地域防災訓練」に参加し、地域住民・団体との交流を図った。残念ながら「ちびっこまつり」は平成28年度をもって終了となったが、新たな地域連携へ向けて模索を続けている。

## 〔利用実績〕

(単位：人)

	年度 累計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入所者数	93	10	8	7	7	9	8	5	8	2	9	6	14
退所者数	93	8	11	6	9	8	5	12	2	8	6	6	12
月末在籍数	平均 67.9	71	68	69	67	68	71	64	70	64	67	67	69
27年度	平均 70.1	71	73	71	69	69	69	69	70	71	70	70	69

## 〔退所理由〕

(単位：人)

	自 活	居 宅 移 管	入 院 除 籍	他 施 設 移 管	任 意 退 所	無 断 退 所	命 令 退 所	帰 郷 ・ 親 族 同 居	勾 留 除 籍	死 亡	促 進 社 会 復 帰	そ の 他	合 計
28年度	2	49	5	9	12	6	4	1	1	2	2	0	93
27年度	1	56	3	10	7	8	4	2	4	1	2	0	98

## 2 主要目標に対する成果

## (1) 医療・精神保健関係の各種社会資源との連携強化

精神科入院者に対し、退院に向けたプログラムの一環として施設見学会を開催するほか、スタッフ対象の施設見学会の開催、病院での勉強会への参加により、情報共有や相互理解、連携を強化した。福祉事務所を対象とした見学会も2月に実施し、高い評価を得た。

## (2) 一時入所事業の積極的受け入れ

一時入所事業は8件と昨年度同様の実績を維持し、円滑な退院移行に効果を発揮した。

## (3) 多様な就労支援の実施

新たな所内作業として淀橋荘の外構清掃や居室清掃等をプログラムに加え、就労支援の多様化と拡充を図った。中間的就労での地元事業主との連携は、双方のニーズに食い違いがあり、課題を残す状況にある。

## (4) 地域社会との交流を深め、地域行事への積極的参加により社会貢献を実施

商店会のちびっこまつり、町会主催の地域防災訓練、淀橋市場の市場祭りに職員、利用者を含め積極的に参加し、地域との交流を深めた。また、クリーンデーでは淀橋荘周辺を中心に町内を清掃し、社会貢献を行った。

<h3>3 運営管理</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更生・通所会議を通じて個別自立支援プログラムを共有し、併せて日々の支援内容を毎朝の引継会議で確認することで、組織的な支援を行った。</li> <li>・服薬管理簿及び個人別処方一覧により、各利用者の健康状態に配慮した服薬管理を徹底した。</li> <li>・職員会議でヒヤリハットを共有し、服薬管理や利用者対応に関する業務改善に取り組んだ。</li> <li>・苦情（食事の異物混入1件）は制度に基づき対応し、改善策を提示のうえ、本人の同意を得た。意見箱での匿名の意見等は、毎月の利用者懇談会を通じて回答、周知、注意喚起を行った。</li> <li>・ステップルーム（9室）を活用し、居宅生活に向けた実質的な訓練を行うほか、4人部屋では対応困難なケース等に対し、柔軟な受け入れ、支援を行った。緊急柵についても、2人柵に対し年間21件と、積極的な受け入れを行った。</li> <li>・年2回のバイキング食は好評を得たが、国際料理については、定番料理を好む利用者が多く、評価は高くなかった。（平成29年度は、国際料理に変え、駅弁風料理を導入）</li> <li>・ステップルーム利用者のレシート管理を通じた食生活アセスメント、実際のアパート生活を想定し、お惣菜を活用した調理実習等、居宅生活を想定した支援を実施した。</li> <li>・困難事例検討会では、武蔵野大学のゼミと合同で実施し、有意義な議論を行うことができた。</li> </ul>	
<h3>4 保健衛生・環境整備</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断（年2回）やインフルエンザ予防接種（年1回）を行い、日常的な手指消毒の奨励と冬季の館内アルコール消毒（ノロウイルス対策）を行った。</li> <li>・定期的な防虫調査・消毒のほか、入所時の生活害虫確認を徹底したため、トコジラミ等の発生を完全に防止した。</li> <li>・清掃委託契約を併設施設と一本化し、業務内容を合理化し、効率化した。</li> <li>・老朽化に伴う施設全体の大規模な外壁塗装・屋上防水工事が実施され、設備が改善された。</li> </ul>	
<h3>5 施設の社会化（地域交流事業及び施設機能強化推進事業）</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度で終了となる地元商店会の「ちびっこまつりファイナル」、淀橋市場協会の「淀橋市場祭り」には利用者とともに積極的に参加した。商店会からは、今後行事が企画された際には淀橋荘の参加を要望されている。</li> <li>・新宿区内の更生保護施設連絡協議会（年2回）に参加するほか、関東管内更生保護施設職員研修に協力し、見学受け入れを行った。</li> </ul>	
<h3>6 福祉サービス第三者評価 評価結果</h3>	
<p>評価機関：特定非営利活動法人 NPO サービス評価機構</p>	<p>実施期間：H28.5.30～H28.7.15</p>
<p><b>特に良いと思う点</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 精神的な課題を抱えた方々を積極的に受け入れ、精神科病院との連携を密に取り、自立した生活への支援を行っている。</li> <li>② 関係機関（者）と連携したり、所内作業の活用など、利用者に対して「働く」ことへの意識づけに努めている。</li> <li>③ 「地域と共に歩む施設」を目標に掲げ、地域との連携に努めている。</li> </ol> <p><b>さらなる改善が望まれる点</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者の自立への意欲を高めたり、社会性を高めるような活動についてより一層の取り組みを期待したい。</li> <li>② 業務の標準化に向けて、より一層の取り組みを期待したい。</li> <li>③ メンタルヘルスに向けたより一層の取り組みが望まれる。</li> </ol>	<p><b>施設コメント：</b></p> <p>精神疾患や知的、発達障害をもつ方の入所が過半数を占める状況が続く中で、医療との連携強化や個々の状況に合わせた就労への取り組みが評価された。</p> <p>利用者アンケートでは、各項目で軒並み改善がみられ、総合評価では68.5%の方が「満足」「やや満足」と回答した。</p> <p>意欲や社会性を高めるための行事等の実施については、実施を検討している。</p>